

お 金 産 の 地 消 事 業 地 産 促 進 キ ッ ク オ フ シ ン ポ ジ ウ ム

愛知県 新しい公共支援事業
「地域内“志金”循環(お金の地産地消)促進事業」
キックオフシンポジウム
～みんなの“志金”で地域を元気に～

平成23年9月23日(金・祝)午後
ワインクあいち(愛知県産業労働センター)にて開催!

現在、NPO等の社会課題解決のための事業に対する金融として、「市民ファンド」が注目を集めています。京都府では、平成21年に「京都地域創造基金」(<http://www.plus-social.com/>)が設立され、今年8月までに約600人の市民から総額3,200万円以上の寄附を集め、それを原資に府内のNPO等へ助成を行っています。私たちのお金が、私たちのまちや暮らしに生かされる新しい仕組みづくりがいま、各地に広がり始めています。

資金源の確保はNPO等による自助努力も当然必要ですが、事業収入を得にくい分野もあり、寄附、融資等、広く社会から支援を得られる仕組みを整備しなければ、NPO等が本当の意味で「新しい公共」の一端を担うこととは困難です。

本シンポジウムでは、資金の受け手(NPO等)、生かし手(助成・金融機関、中間支援組織等)、出し手(市民)の3者が、「地域内“志金”循環(お金の地産地消)」の実現に向けた対話をを行い、その確立や発展のポイントを探ります。

阪神大震災が起きた平成7年は、後に「ボランティア元年」と称されました。匿名の寄附が全国各地で相次いだ『タイガーマスク運動』や東日本大震災が起きた今年は、日本の「寄附元年」になるかもしれません。そんな時代の幕開けに、ぜひご参加ください。

開催概要

- ◆日時：平成23年9月23日(金・祝)
13:00～16:30 (12:30～開場)
- ◆会場：ワインクあいち 902大会議室 (愛知県名古屋市名駅4-4-38)
 - JR名古屋駅桜通口からミッドランドスクエア方面 徒歩5分
 - ユニモール地下街5番出口 徒歩2分
 - <http://www.winc-aichi.jp/access/>
- ◆定員：100名(先着順)
- ◆対象：地域の中でお金を循環させたい、以下のようなみなさま
 - (1)資金調達に悩んでいる「NPO等」
 - (2)NPO等を支援している「助成・金融機関、中間支援組織等」
 - (3)お金を通した地域社会貢献に
関心のある「市民」
- ◆参加費：無料
- ◆主催：愛知県
- ◆運営：コミュニティ・ユース・バンクmomo (<http://www.momobank.net/>)

「地域内“志金”循環(お金の地産地消)促進事業」とは？

今年度から2年間、愛知県が実施する「新しい公共支援事業」のNPO等活動基盤整備支援事業のテーマのひとつ『寄附・融資の増進』に選定された事業です。活動資金が不足しているNPO等を対象に、寄附・融資制度の情報や寄附・融資を受けるためのノウハウの提供等を実施することにより、地域内における資金循環の円滑化を図ることを目的としています。

今年度は資金の受け手(NPO等)、生かし手(助成・金融機関、中間支援組織等)、出し手(市民)のそれぞれを対象とした研修会やセミナー、フォーラム等の開催を通して、地域内で“志金”が循環する仕組みを検討します。



プログラム

◆基調講演

お金の流れが社会を変える

～市民がつくる新たな金融～

藤沢久美さん（シンクタンク・ソフィアバンク 副代表）

◆実践報告

市民ファンドが被災地を支える

～「地域創造基金みやぎ」の挑戦～

鈴木祐司さん（一般財団法人地域創造基金みやぎ 常務理事）

◆パネルディスカッション

愛知県で“志金”を循環させるには？

～「お金の地産地消」の実現に向けて～

<パネリスト>

～「資金の受け手（NPO等）」の視点から～

戸枝陽基さん（社会福祉法人むそう 理事長）

～「資金の生かし手（助成・金融機関、中間支援組織等）」の視点から～

由里宗之さん（中京大学 総合政策学部 教授）

～「資金の出し手（市民）」の視点から～

栗田暢之さん（NPO 法人レスキューストックヤード 代表理事）

<コーディネーター>

木村真樹（コミュニティ・ユース・バンク momo 代表理事）

ゲストプロフィール

藤沢久美（ふじさわ・くみ）



国内外の投資運用会社勤務を経て、1996年に日本初の投資信託評価会社を起業。99年同社を世界的格付け会社に売却後、2000年にシンクタンク・ソフィアバンクの設立に参画。現在、副代表。03年社会起業家フォーラム設立、副代表。07年ダボス会議を主宰する世界経済フォーラムより「ヤング・グローバル・リーダー」に選出される。法政大学大学院客員教授、情報通信審議会委員、金融審議会委員など複数の公職も歴任。著書は『なぜ御用聞きビジネスが伸びているのか』『脱・家族経営の心得』他多数。

<http://kumifujisawa.jp/>

鈴木祐司（すずき・ゆうじ）



1977年生まれ。いじめにより小5で不登校、都内のフリースクールを経て、97年に米国系財團（青少年育成分野）日本事務局に入局。子どもの参画の推進、企業のCSR施策に関するコンサルティング業務等に従事。その後、私立大の非常勤講師、教育系NPOへの勤務等を経て、今年4月2日より被災地支援活動に従事。せんたい・みやぎNPOセンターを母体とする財団設立業務に従事し、6月20日に設立、現職。公益法人を目指している。

<http://blog.canpan.info/trust-miyagi/>

戸枝陽基（とえだ・ひろもと）



1968年10月15日、群馬県太田市生まれ。日本福祉大学卒業後、障がい者施設で7年間勤務。重症心身障がいや自閉症、精神障がいの方などと関わる。退職後、1年間の準備期間を経て、99年「生活支援サービスふわり」運営開始。翌年法人化して「NPO法人ふわり」とする。2003年「社会福祉法人むそう」認可・設立。

<http://www.fuwari.tv/>
<http://www.musou03.org/>

由里宗之（ゆり・むねゆき）



1959年京都府生まれ。京都大学を卒業後、84年都市銀行に入行し、ハーバード大学大学院修士課程への留学、銀行の再建計画策定への参画等を経て、1996年に退職。大阪市立大学大学院博士課程に入学後、98年より中京大学に職を得る。主な研究分野は日本の中小銀行の現況と経営課題。また、ライフプラン・ローン・投資商品等に関する金融教育のあり方にも強い関心を有する。2005年から10年まで瀬戸信用金庫の員外監事も務めた。

<http://nc.chukyo-u.ac.jp/sogou/kyouin/teacher/yuri.html>

栗田暢之（くりた・のぶゆき）



1964年岐阜県生まれ。阪神・淡路大震災時に勤務していた大学の大学生ら延べ1,500名とともに現地入りし、以降、国内約35箇所の災害現場で支援活動を展開。またその学びを生かし、「地域防災」「災害ボランティア」「災害時要援護者」等をテーマにした様々な事業に取り組む。その他、中央省庁、愛知県などの各種委員会委員も歴任。2003年防災功労者防災担当大臣表彰受賞。東日本大震災支援全国ネットワーク代表世話をなども兼務。

<http://www.rsy-nagoya.com/rsy/>

木村真樹（きむら・まさき）



1977年愛知県名古屋市生まれ。大学卒業後、地方銀行勤務を経て、A SEED JAPAN 事務局長や apbank 運営事務局スタッフなどを歴任。2005年にmomoを設立し、若者たちによる“お金の地産地消”的推進や、社会責任・貢献志向の企業やコミュニティビジネス、NPOへのハンズオン支援を行っている。全国NPOバンク連絡会理事、東海若手起業塾起業家支援コーディネーター、NPO法人名古屋NGOセンター理事、愛知淑徳大学非常勤講師なども務める。

<http://www.momobank.net/>

参加申し込み

下記の【参加申込フォーム】に必要事項をご記入の上、E-mailかFAXでmomo運営事務局までお申し込みください。

申込〆切：平成23年9月21日(水)18:00

※いただいた個人情報は、本シンポジウム開催以外の目的には使用しません。

【参加申込フォーム】

(ふりがな)

お名前：

緊急連絡先（携帯電話など）：

参加動機、当日知りたいことなど：
(可能な範囲で当日の内容に反映させていただきます)

Fax : 052-339-5651
E-mail : info@mombank.net
お問い合わせもこちらまで

お問合せ&お申込先
コミュニティ・ユース・バンク momo 運営事務局
担当：木村、齊藤
Tel : 052-331-5695 Fax : 052-339-5651
E-mail : info@mombank.net
〒460-0014 愛知県名古屋市中区富士見町9-16 有信ビル2F